

♪指揮者と言う仕事♪

拝復。



今年の冬は本当に寒い。もっとも、原稿を書いている職場は大型のエアコンが効いているので快適です。問題はむしろ自宅ですね（笑）。各部屋の空調ですから、**トイレ・風呂の水周りが寒い(T_T)**。風



←ガウンに着替えたならコタツに直行（笑）

呂から上がって**下着→パジャマ→ガウン**に着替えるまでのスピードをいかに手早くこなすか、こんなところにも微妙なテクニックがあったりします（笑）。それよりは、リフォームが必要でしょうね。

アメリカの大統領選は、共和党はマケインさんで決まりのようですが、民主党は大激戦ですね。今日の



←盛り上がってます。福井県小浜市（笑）

朝のニュースではついに**代議員の数でもオバマ候補が逆転**、と報じています。最終的には8月の民主党大会までもつれるのでしょうか、クリントン候補の選挙参謀が相次いで辞任し、選挙資金の不足が噂されたりしています。どうも**流れ（モメンタム）がオバマ候補**に来ているような気がします。ま、まだわかんないですよ^^；3月4日のテキサス、オハイオが重要な鍵です。

今回のお題は「**指揮者と言う仕事**」です。「ん？」と思われる方が多いのではないかと感じま



す。ここで言う指揮者は、「**クラシック音楽におけるオーケストラの指揮者**」のことです。

30年くらい前ですが、「**男と生まれてきたからには一度はやってみたい**」**職業の第三位**だったそうです。

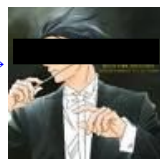


←現場監督（笑）



ちなみに一位は「**プロ野球の監督**」（笑）、二位が**連合艦隊の司令官**。やっぱ、古いなあ。で、ちなみに私、多少クラシックなども聞きますので、一度はやってみたい。80人近くのプロの演奏者たちを**自分のタクトで操ってみたい**。曲目はブラームスの「交響曲第一番」。いや～～、憧れるなあ。このお正月、「のだめカンタービレ」が二日間、スペシャル版で流れました（平均視聴率 20%超

ちなみに玉木さんの指揮は専門家でも高評価だったそうです→



え）。玉木宏さん 演じる「千秋真一」**かっこよかったもんなあ**。

<http://wwwz.fujitv.co.jp/nodame/index.html>。

閑話休題 (笑)。そもそもオーケストラ指揮者って何をしているんだろう？という素朴な疑問はかなり前から持っていました。あれだけのプロの集団なら指揮者なんていなくても演奏出来るんじゃないの？と思っていました。調べました。

♪結論、出来ません♪^^;

これにはシンプルでテクニカルな理由がありました。なぜならば、

答えその①：**演奏者 80 人近くのテンポを合わせる基準がなくなるから**

一人一人が「全体のメロディを聞きながらあわすことは出来ない」からです。ヴァイオリンの音は音の大きい金管楽器や打楽器の演奏者には十分聞こえないのです。またヴァイオリンのメロディをコントラバスが聞きながらタイミングを合わせるとオーケストラの端から端までの音の伝わる速度の二倍のずれが出てしまいます。**全員がタクトを見つめるのは「光の速度 (視覚)」が音に比べて遥かに早いから**。だったらメ

トロノームでも前において置けばいいような気もしますが (笑)。



答えその②：**一人一人の演奏者には全体の音楽のバランスがよく分からないから**

メロディを引き立たせたり、弦楽器を強めにすることで重厚なハーモニーを印象付けたり、管楽器を強めにすることで華やかにしたり、つまり**全体の音量のバランスのコントロールをしなくてはなりません**。が、演奏者一人一人には全体の音量のバランスが分からないのです。どんな風に聞こえているんでしょう？

これでオーケストラに指揮者と言う仕事が必要であることが明確になりました。納得？ (笑)



「トスカニーニ」



「カラヤン」

でも、これだけだとしたら「フルトベングラー」

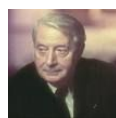


「オザワ」



←もちろんギャグです (笑)

などが賞賛される理由はなんでしょうか？彼らは楽器を弾きません、歌うこともしません。本日の本論はここからです (笑)



「シャルル・ミュンシュ」(1891~1968) という著名なフランスの指揮者がいます。

最も大きな功績は**ボストン・シンフォニー**の音楽監督をつとめたマエストロです。この人が「**指揮者と言う仕事**」(春秋社 2060 円←消費税 3%の頃だ (笑)) という本を書いています。実はこの本は数年前に自身で購入した本で、やはり素朴な疑問と好奇心から読みました。全体を通じて結構難解なのです。では、ミュンシュさんに教えていただきましょう。

「指揮者と言う用語そのものには、命令の概念が含まれている。が、大事なのは命令を与えるよりもむしろ、命令を表し得ることであり、しかもそれを言葉によってではなく身振り、態度によって真の精神感応によって、はっきり感じ取れて抗いがたい放射によって表しうることである」ほら、難解だ(笑)

「この超人間的な存在力を解き放ち、放射させ、オーケストラの楽員たちに魔法をかけることである」



←そう言えば魔法使ってタクトを持ってますよねえ(偶然)?

そうです、指揮者とは魔法使い だったのです(笑)。

では指揮の仕事の(テクニック)面をもう少し噛み砕いていただきます。

- 1、まず、右手でテンポを決定する。理性の手である。>へえ〜〜! そうだったんだ! —(∇°)—
- 2、左腕はニュアンスを指示する。心の腕である。
- 3、この二つを完全に連携させなければならないし、互いの腕が妨げあってもいけない。
- 4、この他に、目配せ、表情、姿勢などを駆使して演奏者を完璧にコントロールすることである

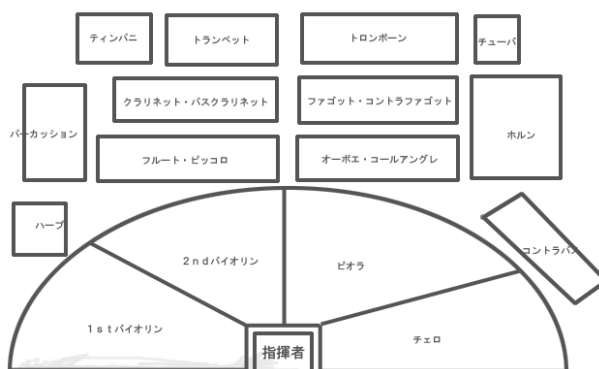


なるほど、あのダンス にはそういう秘密が隠されていたのですね。

指揮者としての最低限の資格とはなんでしょうか?

- 1、楽器の演奏が出来なくてはならない(当然プロレベル)。ミュンシュさんはバイオリニストでした。
- 2、総譜が読めなければならない。しかもオーケストラの全ての楽器を熟知しなければならない
(ちなみにオケの場合、最低でも20種類の楽器が必要です)20種類の楽器のスコアを全て暗記していなければ、そもそも指揮者の仕事は成立しない。
- 3、ミス完璧に指摘できなければならない(80人近い合奏の一つ一つのミスを見つけるんです)
(実際にこれは各地のコンクールの審査に使われます。オケがわざと間違えて指摘出来るかどうか)
- 4、音楽理論のプロフェッショナルでなければならない(ま、これは当然か)
- 5、演奏する曲目について深い理解と聡明な解釈を持っていなければならない(奏者のだれよりも)
- 6、その解釈を演奏者たちに分かりやすく伝え、解釈を共にしなければならない

最後の六つ目だけが、なんとなく人としての仕事、と言う感じがします。が、いずれにしても指揮者と言うのは大変な存在なのであるということは、分かってきました。ホント?(笑)。



←これが標準的なオケの配置です。

約80人の演奏のミスを完璧に指摘する指揮者って、やっぱり天才?

オーケストラはざっとパートに分けると上図のような構成になっています。弦楽器は同じ譜面を弾きますが、金管楽器は一人一人の譜面が異なります。それを全て把握して、ミス指摘する。超人ですね。

で、次にミュンシュさんの名演奏家ならではのやり方が伝授されます。

- 1、ソリスト（演奏者）たちを決して軽んじてはいけない（また彼らのプライドを傷つけてもならない）
- 2、最上のオーケストラたちには練習のさせすぎはよくない <え、そうなんですか？（笑）
- 3、指示は簡潔に、絶対に必要なことをわずかな言葉で言うべきである
- 4、各パートの首席奏者にある程度任せるべきである

ここでミュンシュさんの人間的な一面が垣間見えます。結構気を使っていますね。ま、そこにいる演奏者たちは「プロ中のプロ」ですから、当然と言えば当然か。マネジメントなんて言う言葉が見えてきませんか？



←あの「指輪」の作曲者 4夜連続でないと演奏できない（爆）

ワーグナーの言葉に「**オケの楽員だけが指揮のよしあしを判断することが出来るのだ**」というのがあります。簡単に指揮棒の命令に従ってくれるわけではないそうです。結構、戦っています。

そして、指揮者との共通の目標は「**最上の演奏を集まった聴衆に披露すること**」です。

実はこのテーマを選んだ時の意図は「**リーダーの条件とは何か**」という論に落とし込もうとしていました。スター軍団であるオーケストラと指揮者では無理があった（笑）。でも、ちょっとだけ。

- ・ その仕事について詳しくなければならぬ（実際に働くのは部下でも）
- ・ 社員は全てプロとして生きている、と尊重する（何年も働いていてプロじゃないは恥ずかしい） ^^ ；
- ・ ミスに気が付き、それを即座に簡潔でわかり易い方法で伝達する
- ・ 全員が同じ解釈（事業の方向性）が出来るまで、全身全霊をこめてコミュニケーションする
- ・ 全体の方向性はリードしつつも、各部門の部門長（首席奏者）に権限委譲をする

ちょっと強引ですね（笑）。書いてみて思ったのですが、これってプロ野球の監督に近いような気がします。選手は70人。それぞれが違うポジションで、違う経歴で、違う実力を持っています。その手駒を利用して何とかして相手よりも一点多く試合を終えることに全てをかける。それぞれの部門には専門性の高いコー



チを配置する。連合艦隊司令官も同じですね。ではでは～（^^）/～～、

次回は3月初頭。きっと春はそこまで。**花粉の季節の到来です(T_T)**。

株式会社アール・リサーチ 〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I 馬橋 3F

Tel : 047-342-3181 mobile : 090-7428-8999 mail : ryubon@kkd.biglobe.ne.jp

（配信を希望されない方は上記アドレスまでご連絡をお願いします）